

# 細呂木地区内トピックス

## ○ さくらセンターサマーフェスティバル 7/27

7月27日に五ヶ村(清王校下)の夏祭りが開催され、多くの地区民が集まり、五ヶ村名物「スコップ三味線」の演奏やヨーヨーすくいなど、楽しい夕どきを楽しめました。



## ○ 山室区地蔵祭り 8/24 & 稲刈り体験会 9/15

8月24日、山室区で地蔵祭りが執り行われました。区内のお地蔵さんを山室集落改善センターに集めて、子供たちの手によりきれいに洗い清められたお地蔵さんに、色とりどりの輪袈裟をかけ、こども会による法要がおこなわれました。



9月15日、山室稲作したしむ会は、子供達と一緒に、5月12日に田植えをした「もち米」の稲刈りをしました。

この活動は「未来を担う子供達に稲作の大切さを伝承する」ためのもので、11月16日には刈り取ったモチ米で餅つき大会を行い、あんこ、きな粉、おろし餅にして参加した区民や子供たちで食べたあと、山室区民全員にお餅を一人1個ずつお分けするそうです。



## ○ 細呂木地区戦没者追悼会 9/21

9月21日、細呂木地区戦没者追悼会が、地区内の5寺のご住職に参勤いただき、雨天のため会場を細呂木公民館体育館に変えて開催されました。

この戦没者追悼会は、西南戦争から先の太平洋戦争までの数次に亘る大戦で散華された二百九柱の英霊を迎え毎年開催しているもので、戦没者遺族の皆様、細呂木地区忠魂碑奉賛会(区長会)の皆様、地区老人会代表の方など多くの方がお参りされました。



## ○ 高塚区・宮谷区でダックレース開催 9/22

高塚区のお祭りのメインイベント「ダックレース」が、宮谷区内を流れる小川で初めて同時開催され、両馬場(家鴨場)とも小雨降るやや重?の中、高塚レース場でスタート。2時間遅れで宮谷がスタート。

両レースとも大接戦となり、大歓声に押されダックも最後まで力走(泳)。宮谷ではゴール直前で数頭(羽)にまくられる大波乱もあり、大変な盛り上がりダックレースとなりました。



あわら市 細呂木公民館

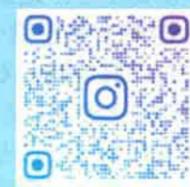


〒919-0805 あわら市滝63-21  
(TEL 0776-73-2151 Fax 0776-91-2151)

細呂木公民館公式Instagram更新中!!

細呂木公民館で行うイベントのお知らせ、活動の様子や、公民館周辺・細呂木地区内のいろいろな風景などを情報発信しています。

あわら市細呂木公民館  
公式Instagram



みぢかひ話題をお届けします

# ほそろぎ通信

細呂木公民館だより 令和6年 錦秋号

ふれあい祭  
特集号!!



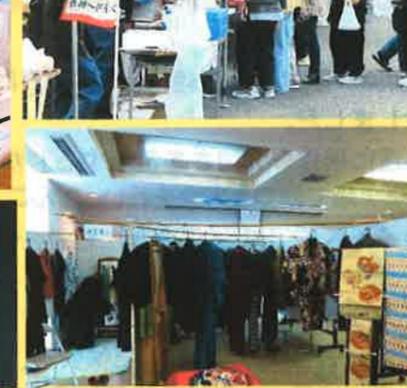
「第45回 細呂木ふれあい祭」が

10月27日多くの皆様が集まれ、元氣いっぱい盛大に開催されました。



祭り当日の天気予報がころころ変わる中で開催でしたが、地区の皆様のご協力のおかげで、店じまいまでは雨にもあわず、多くの皆さんが集まり、和気あいあい、和やかに、お祭りを楽しみました。館内では、こども園児、小学校児童の作品や地区の皆さん、公民館教室の生徒さんや自主クラブで活動する皆さんの作品や芸能発表、こども園児による太鼓演奏や可愛いダンス、小学校一、二年生による元氣いっぱい合唱やダンス、大道芸人NATSUパフォーマンスショー、模擬店も大繁盛で完売続出。祭りの締めは、恒例の「お楽しみ抽選会」。小雨が降り体育館での「餅まき」でしたが、最高の盛り上がりとなりました。模擬店出店で協力いただき、また各種団体の皆様、生涯学習地区推進員・区長会の皆様ありがとうございました。





竹細工・苔玉教室を開催。ふれあひ祭りでできあがった作品を展示しました

竹細工教室 10月21日

創作竹工芸作家の山田信雄先生を迎えて、恒例となった「干支作り」。来年は巳年。

弁財天の使いと言われていたため、最初に5つパーツでトグロを巻く巳を造り、組立てた琵琶をその中に立てて完成。

琵琶の模様描きや弦の接着に苦労するも、皆さん何とか時間内に出来上がりました。



苔玉教室 10月25日

尾方喜代子先生を迎え、晩秋から冬にかけて映える山野草等を組み合わせて作る苔玉教室。

参加した皆さんは、それぞれの思いで、大小の山野草や花木を組み合わせて、小さな景色造りを楽しみました。



たたら製鉄体験会を開催しました

10月8日、細呂木製鉄遺跡ミニパークにおいて金津東小6年生と伊井小学校の5、6年生の52名が古代製鉄を体験しました。

火を噴く炉に炭や砂鉄を入れる時にはチョット怖そうでしたが、最後に炉を外し一番下の炉から真っ赤になって出てきた鉄塊を見て驚きの歓声があがり、最後に、水をかけて冷やした中から磁石で鉄を拾って持ち帰りました。

また、脚で踏んで炉に風を送るための装置を「たたら」と呼ぶことから「たたら製鉄」と呼ばれるようになったことや、壁面に残る古代炉の跡の説明を聞き、製鉄に関わる歴史を学びました。

